

景 気 動 向 調 査

(第 182 回)

2016 年 7 月 ~ 9 月期実績

2016 年 10 月 ~ 12 月期予測

株式会社 北日本銀行

経 営 企 画 部

目 次

調査要領	1
概 況	2
1．県内景況感について	4
2．業況について		
(1) 売上高または出荷高	5
(2) 仕入高または生産高	6
(3) 在 庫	7
(4) 収 益	8
(5) 販売価格・仕入価格	9
3．設備投資の動向について		
(1) 設備投資の実施状況	10
(2) 設備投資の目的	11
4．資金繰り状況について		
(1) 資金繰り状況	12
(2) 現金・預金	13
(3) 金融機関借入	13
(4) 販売代金回収期間	14
(5) 仕入代金決済期間	14
5．経営上の問題点について	15

調 査 要 領

この報告は、岩手県内企業各社のご協力をもとに、下記の要領により景気動向の調査を行ったものです。

記

- 1．実施時期 2016年 9月下旬～10月上旬
- 2．調査対象期間 2016年 7月～ 9月期実績
 2016年 10月～12月期予測
- 3．調査の方法 郵送による無記名のアンケート方式（年間4回）
- 4．対象先 岩手県内企業 290社
- 5．回答数 157通（回答率 54.14 %）
 内訳 製造業 51社 建設業 33社 卸・小売業 73社
- 6．調査の主要項目 ・業況について
 ・設備投資の動向について
 ・資金繰りの状況について
 ・当面する経営上の問題点について

以 上

【本文用語説明】

「増加」～グラフ上の「増加」および「やや増加」

「減少」～グラフ上の「減少」および「やや減少」

DI（ディフュージョン・インデックス）～

「景気動向指数」のことで、各項目について「増加」（増加およびやや増加）と回答した企業の比率から「減少」（減少およびやや減少）と回答した企業の比率を減じた数値である。この値が「0」の場合は、「増加」と「減少」が等しいことを示し、プラスとなるほど「増加」が多く、マイナスになるほど「減少」が多いことを意味する。

（注）「上昇・低下」「楽になった・苦しくなった」「長くなった・短くなった」の回答についても同様に読み替える。

ただし、「販売代金回収期間」については、「短くなった」-「長くなった」で算出している。

概 況

2016年7～9月期の岩手県内企業の景況感D Iは、全体で 50.3 と前期（2016年4月～6月期） 46.7 と比較し、3.6ポイント低下した。
2016年10～12月期は、景況感は若干上昇するものの、個別項目を見ると、低下する項目が多い見通しとなっている。

D I（景気動向指数）推移

全業種ベース	7～9月期実績	10～12月期見通し
景況感	50.3	44.1
売上高・出荷高	27.1	30.0
収益	23.8	28.7
販売価格	7.1	3.9
仕入価格	10.2	5.8
資金繰り	11.5	14.2

・岩手県内企業「景況感D I」ワーストランキング

	調査回次	対象期間	景況感D I
1	第 153 回	09年1～3月	92.7
2	第 152 回	08年10～12月	91.3
3	第 124 回	01年10～12月	91.2
4	第 109 回	98年1～3月	90.6
5	第 111 回	98年7～9月	90.0

（1971（昭和46）年以降）

<岩手県の参考データ>

・有効求人倍率の推移

平成28年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.28	1.28	1.32	1.32	1.24							

平成27年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.20	1.23	1.21	1.27	1.27	1.21	1.22	1.22	1.20	1.23	1.24	1.25

・新設住宅着工戸数の推移

平成28年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
581	780	852	807	687							

平成27年

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
742	725	887	726	852	663	664	773	680	654	558	498

1. 県内景況感について

全体のD Iは、 50.3であった。

各業種別のD Iをみると、製造業が 49.1、建設業が 45.5、卸・小売業が 53.4 と、前回調査時と比べて景況感は、製造業と卸・小売業は低下、建設業は上向きに推移した。

10～12月期見通しでは、製造業が 49.9、建設業が 33.3、卸・小売業は 45.0 と、製造業と卸・小売業は低下、建設業は上昇する予想となっている。

2. 業況について

(1) 売上高または出荷高

D Iは、全体では 27.1であった。業種別では、製造業が 32.0、建設業が 18.7、卸・小売業が 27.4である。

(2) 仕入高または生産高

製造業の生産高はD Iが 30.0、卸・小売業の仕入高は 22.5となった。

(3) 在庫

製造業の製品在庫D Iは 12.0、卸・小売業の商品在庫は 15.3となった。

(4) 収益

D Iは、全体では 23.8であった。業種別では、製造業が 15.7、建設業が 27.2、卸・小売業が 27.7である。

(5) 販売価格・仕入価格

販売価格は 7.1、仕入価格は 10.2であった。

3. 設備投資の動向について

全体で見ると、設備投資を「実施した」企業は 23.5%となっている。

業種別では、製造業が 21.6%、建設業が 18.8%、卸・小売業が 27.1%である。

設備投資の目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」がトップとなり「生産・販売能力の増加」が2位、「省力化・合理化」が3位となった。

4. 資金繰り状況について

D Iは、全体では 11.5であった。業種別では、製造業が 15.6、建設業が 0.1、卸・小売業が 13.6である。

5. 経営上の問題点について

全業種合計では、「売上・受注不振」、「人手不足」、「収益不振」、「過当競争」が上位を占めている。

1. 県内景況感について

～ 実績は、製造業と卸・小売業は低下、建設業は上向きに推移 ～

[7～9月期の実績] 県内の景況感（前年同期比）をみると、全業種では「良い」と答えた企業が5.1%（前期4.3%）、「悪い」が55.4%（同51.0%）で、DIは 50.3（同 46.7）と、前期に比べて3.6ポイント低下した。

業種別の景況感（DI）をみると、製造業が 49.1（同 44.6）、建設業が 45.5（同 54.1）、卸・小売業が 53.4（同 44.1）となっており、製造業と卸・小売業は低下、建設業は上向きに推移した。

[10～12月期の見通し] 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「良くなる」とみる企業が5.9%、「悪くなる」が50.0%であることから、DIは 44.1となり、7～9月期実績と比較して、若干ながら上昇する見通しとなっている。

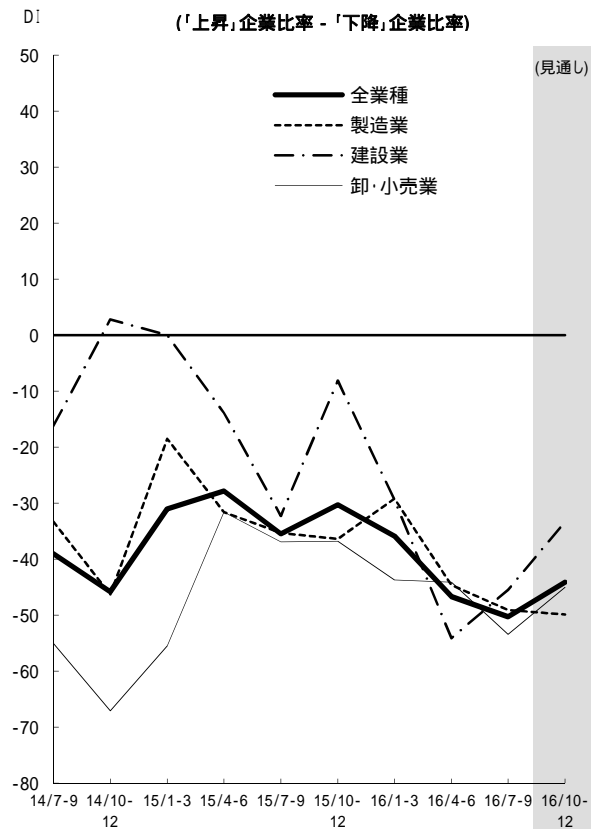
業種別にみると、製造業が 49.9、建設業が 33.3、卸・小売業が 45.0となっており、製造業と卸・小売業は低下、建設業は上昇する見通しである。

県内景況感(前年同期比)

		(%)					DI
	期	良い	やや良	不変	やや悪	悪い	
全業種	7～9月 (実績)	0.0	5.1	39.5	45.2	10.2	-50.3
	10～12月 (見通し)	0.0	5.9	44.1	41.4	8.6	-44.1
(製造業)	7～9月 (実績)	0.0	7.8	35.3	47.1	9.8	-49.1
	10～12月 (見通し)	0.0	4.2	41.7	45.8	8.3	-49.9
(建設業)	7～9月 (実績)	0.0	9.1	36.3	45.5	9.1	-45.5
	10～12月 (見通し)	0.0	15.2	36.3	36.4	12.1	-33.3
(卸・小売業)	7～9月 (実績)	0.0	1.4	43.8	43.8	11.0	-53.4
	10～12月 (見通し)	0.0	2.8	49.4	40.8	7.0	-45.0

県内景況感(前年同期比)

(「上昇」企業比率 - 「下降」企業比率)



2. 業況について

(1) 売上高または出荷高

～ 実績は全業種が低下 ～

[7～9月期の実績] 売上高・出荷高実績(前年同期比)をみると、全業種では「増加」と答えた企業が24.5%(前期27.8%)、「減少」が51.6%(同43.8%)となり、DIは、27.1(同 16.0)と11.1ポイント低下した。

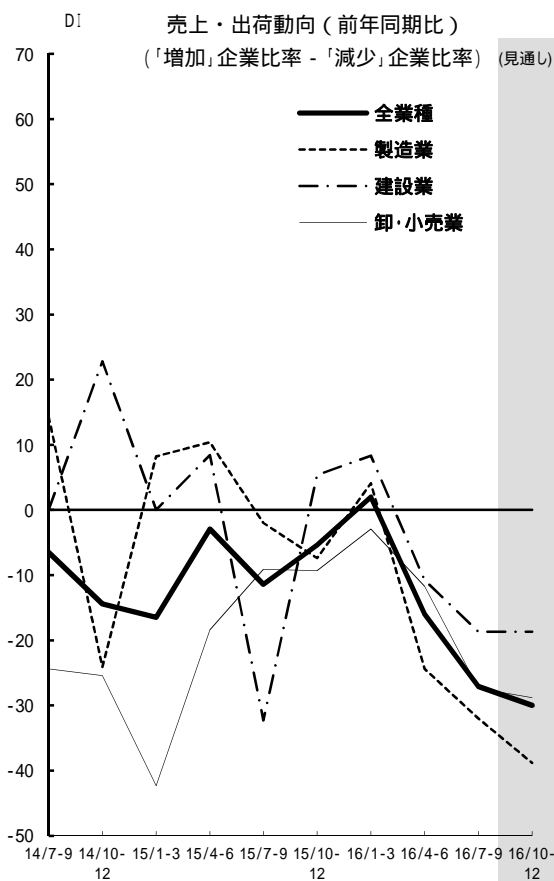
業種別にDIをみると、製造業 32.0(前期 24.4)、建設業 18.7(同 10.8)、卸・小売業は 27.4(同 11.7)となっており、全業種低下した。

[10～12月期の見通し] 10～12月期見通し(前年同期比)をみると、全業種では「増加」とみる企業が19.4%、「減少」が49.4%であることから、DIは 30.0となり7～9月期実績と比較して、低下する見通しとなっている。

業種別にDIをみると、製造業で 38.8、建設業で 18.7、卸・小売業で 28.8となっており製造業と卸・小売業は低下、建設業は上昇する見通しである。

売上高または出荷高(前年同期比)

		(%)					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	7～9月 (実績)	3.9	20.6	23.9	36.8	14.8	-27.1
	10～12月 (見通し)	1.9	17.5	31.2	41.6	7.8	-30.0
(製造業)	7～9月 (実績)	2.0	18.0	28.0	30.0	22.0	-32.0
	10～12月 (見通し)	2.0	14.3	28.6	46.9	8.2	-38.8
(建設業)	7～9月 (実績)	9.4	18.8	24.9	31.3	15.6	-18.7
	10～12月 (見通し)	3.1	31.3	12.5	40.6	12.5	-18.7
(卸・小売業)	7～9月 (実績)	2.7	23.3	20.6	43.8	9.6	-27.4
	10～12月 (見通し)	1.4	13.7	41.0	38.4	5.5	-28.8



(2) 仕入高または生産高

～ 実績は製造業、卸・小売業とも低下 ～

[7～9月期の実績] 仕入高・生産高実績（前年同期比）をみると、製造業（生産高）では「増加」と答えた企業が18.0%（前期21.1%）、「減少」が48.0%（同49.1%）でありDIは30.0（同28.0）と2ポイント低下した。

卸・小売業（仕入高）では「増加」と答えた企業は26.8%（前期27.3%）、「減少」が49.3%（同45.5%）で、DIは22.5（同18.2）と4.3ポイント低下した。

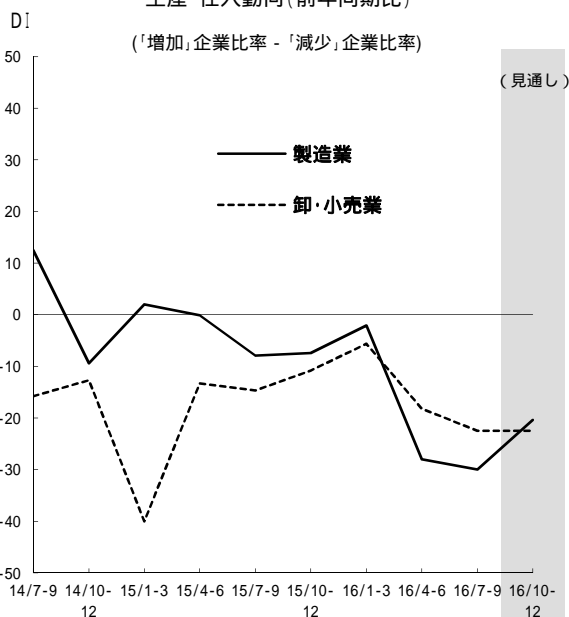
[10～12月期の見通し] 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、製造業（生産高）については「増加」と答えた企業が22.4%、「減少」が42.8%であることから、DIは、20.4で、7～9月期実績と比較して、9.6ポイント上昇する見通しとなっている。

卸・小売業（仕入高）については、「増加」と答えた企業が16.9%、「減少」が39.4%であることから、DIは22.5で、7～9月期実績と比較して横ばいに推移する見通しとなっている。

生産高または仕入高（前年同期比）

		（％）					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI
（製造業）	7～9月 （実績）	2.0	16.0	34.0	38.0	10.0	-30.0
	10～12月 （見通し）	0.0	22.4	34.8	40.8	2.0	-20.4
（卸・小売業）	7～9月 （実績）	1.4	25.4	23.9	40.8	8.5	-22.5
	10～12月 （見通し）	0.0	16.9	43.7	35.2	4.2	-22.5

生産・仕入動向（前年同期比）



(3) 在庫

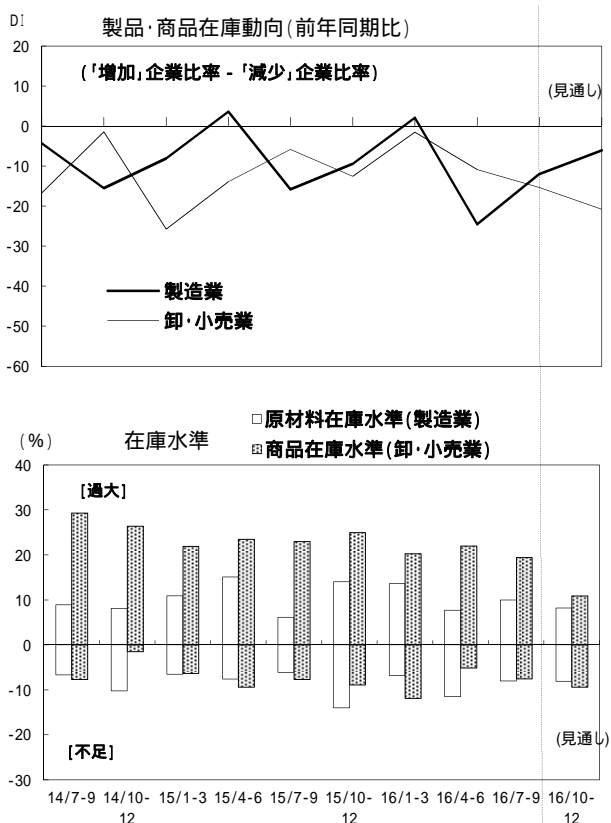
～ 在庫実績は製造業は増加、卸・小売業は減少 ～

[7～9月期の実績] 在庫状況実績（前年同期比）をみると、製造業では、製品在庫が「増加」と答えた企業は24.0%（前期14.1%）、「減少」が36.0%（同38.6%）であることから、DIは12.0（同24.5）となった。また、製品在庫水準については、「過大」が15.7%（同8.9%）、「適正」が68.6%（同80.4%）、「不足」が15.7%（同10.7%）である。卸・小売業の商品在庫は、「増加」と答えた企業が12.5%（前期18.4%）、「減少」は27.8%（同29.3%）であることから、DIは15.3（同10.9）となった。また、商品の在庫水準については「過大」が19.4%（同22.0%）、「適正」が73.1%（同72.9%）、「不足」が7.5%（同5.1%）である。

[10～12月期の見通し] 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、製造業の製品在庫は、「増加」とみる企業が18.4%、「減少」が24.5%で、DIは6.1となっている。また、同じく製品在庫水準については「過大」とみる企業が8.2%、「適正」が79.6%、「不足」が12.2%である。卸・小売業の商品在庫については、「増加」とみる企業が4.2%、「減少」が25.0%であることから、DIは20.8となっている。また、同じく商品の在庫水準については「過大」とみる企業が10.9%、「適正」が79.7%、「不足」が9.4%である。

製品・商品在庫(前年同期比)

		（％）					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI
（製造業）	7～9月 （実績）	4.0	20.0	40.0	28.0	8.0	-12.0
	10～12月 （見通し）	0.0	18.4	57.1	20.4	4.1	-6.1
（卸・小売業）	7～9月 （実績）	0.0	12.5	59.7	27.8	0.0	-15.3
	10～12月 （見通し）	0.0	4.2	70.8	25.0	0.0	-20.8



(4) 収 益

～ 実績は製造業は上昇、建設業と卸・小売業は低下 ～

[7～9月期の実績] 収益動向実績（前年同期比）をみると、全業種では「増加」と答えた企業が19.8%（前期28.3%）、「減少」が43.6%（同44.0%）であり、DIは、23.8（同 15.7）となり、8.1ポイント低下した。

業種別にDIをみると、製造業 15.7（前期 19.2）、建設業 27.2（同 21.6）、卸・小売業 27.7（同 9.2）となっており、製造業は上昇、建設業と卸・小売業は低下した。

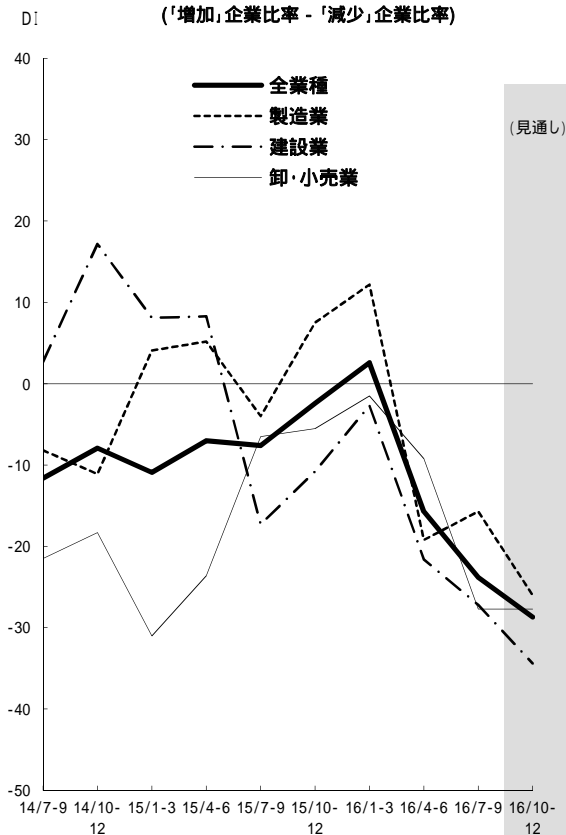
[10～12月期の見通し] 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「増加」とみる企業が12.9%、「減少」とみる企業も41.6%であることから、DIは 28.7で、7～9月期実績と比較して低下する見通しである。

業種別にDIをみると、製造業 26.0、建設業 34.4、卸・小売業 27.7で、7～9月期実績と比較して、製造業は横ばい、建設業は上昇、卸・小売業は低下見通しである。

収 益(前年同期比)

		(%)					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	7～9月 (実績)	3.8	16.0	36.6	30.8	12.8	-23.8
	10～12月 (見通し)	1.9	11.0	45.5	33.8	7.8	-28.7
(製造業)	7～9月 (実績)	3.9	21.6	33.3	31.4	9.8	-15.7
	10～12月 (見通し)	6.0	6.0	50.0	34.0	4.0	-26.0
(建設業)	7～9月 (実績)	6.1	12.1	36.4	24.2	21.2	-27.2
	10～12月 (見通し)	0.0	12.5	40.6	31.3	15.6	-34.4
(卸・小売業)	7～9月 (実績)	2.8	13.9	38.9	33.3	11.1	-27.7
	10～12月 (見通し)	0.0	13.9	44.5	34.7	6.9	-27.7

収益動向(前年同期比)
(「増加」企業比率 - 「減少」企業比率)



(5) 販売価格・仕入価格

～ 実績は販売価格は低下、仕入価格は上昇 ～

[7～9月期の実績] 販売価格（前年同期比）をみると、全業種では「上昇」と答えた企業が9.7%（前期12.7%）、「低下」が16.8%（同12.7%）であることから、DIは7.1（同0.0）と低下した。

仕入価格（前年同期比）は、全業種では「上昇」と答えた企業が20.5%（前期21.4%）「低下」が10.3%（同13.8%）であることから、DIは10.2（同7.6）と上昇した。

[10～12月期の見通し] 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、販売価格については「上昇」とみる企業が8.6%、「低下」とみる企業が12.5%であることから、DIは3.9と上昇見通しとなっている。

仕入価格については、「上昇」とみる企業が15.5%、「低下」とみる企業が9.7%であることからDIは5.8と低下する見通しとなっている。

販売価格(前年同期比)

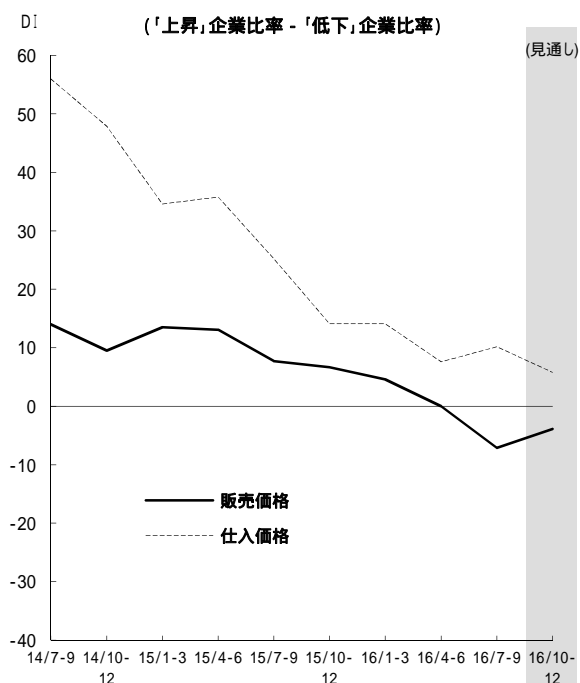
		（％）					DI
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	
全業種	7～9月 (実績)	1.3	8.4	73.5	15.5	1.3	-7.1
	10～12月 (見通し)	0.7	7.9	78.9	10.5	2.0	-3.9

仕入価格(前年同期比)

		（％）					DI
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	
全業種	7～9月 (実績)	1.9	18.6	69.2	10.3	0.0	10.2
	10～12月 (見通し)	0.6	14.9	74.8	9.7	0.0	5.8

価格動向(前年同期比)

(「上昇」企業比率 - 「低下」企業比率)



3.設備投資の動向について

(1) 設備投資の実施状況

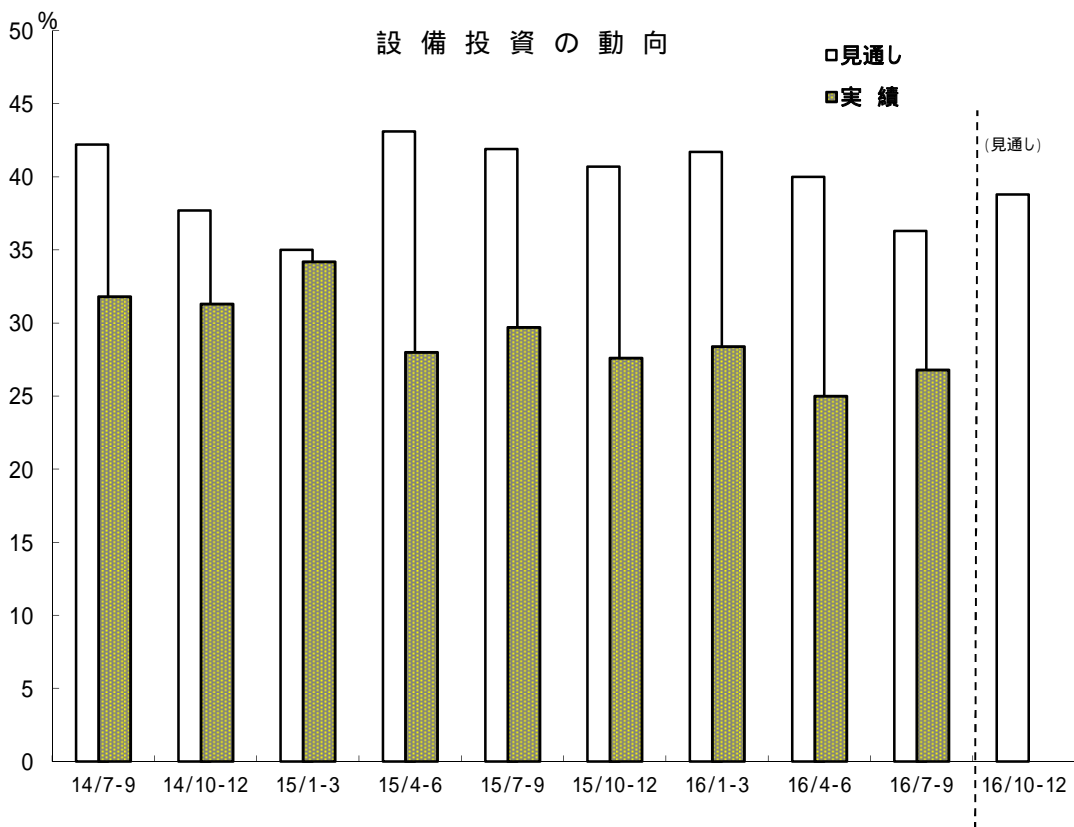
～ 実績は製造業は減少、建設業と卸・小売業は上昇 ～

[7～9月期の実績] 設備投資の実施状況をみると、全業種では「実施した」および「計画を縮小して実施した」と答えた企業は26.8%（前期25.0%）と前期比上昇した。

これを業種別にみると、製造業25.5%（前期31.0%）、建設業25.1%（同13.9%）、卸・小売業28.5%（同26.2%）であり、製造業は低下、建設業と卸・小売業は上昇した。

[10～12月期の見通し] 今後3ヵ月の設備投資について、全業種では「具体的な計画がある」と答えた企業は全体で23.5%（前期24.8%）、「計画はあるが具体化していない」は3.3%（同11.5%）、「計画はない」は73.2%（同63.7%）であった。「計画あり」は合計26.8%となっている。

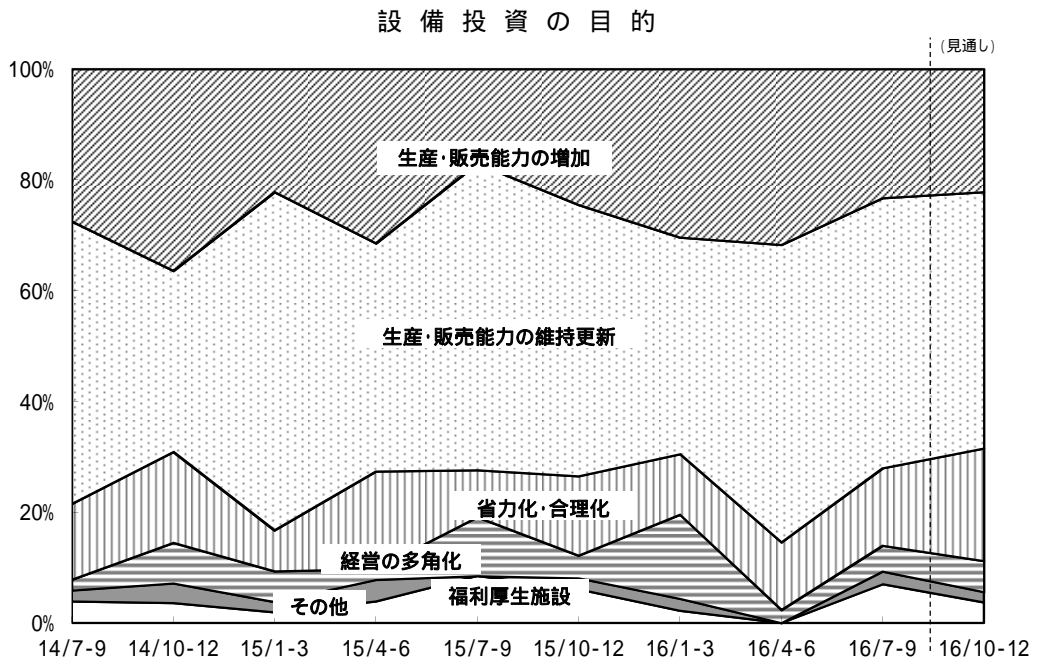
業種別にみると、「具体的な計画がある」および「計画はあるが具体化していない」と答えた企業は、製造業で53.0%（前期55.4%）、建設業で25.0%（同25.0%）、卸・小売業で35.2%（同26.2%）の見通しとなっている。



(2) 設備投資の目的

[7～9月期の実績] 今回の調査で「設備投資を実施した」と答えた企業(23.5%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が48.8%（前期53.7%）でトップとなり「生産・販売能力の増加」が23.3%（同31.7%）で2位となった。業種別で見ると、全業種が「生産・販売能力の維持更新」がトップであった。

[10～12月期の見通し] 今後3カ月の設備投資について、「計画あり」と答えた企業(38.8%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が46.3%でトップとなり、以下、「生産・販売能力の増加」22.2%、「省力化・合理化」が20.4%で3位となっている。



4. 資金繰り状況について

(1) 資金繰り状況

～ 実績は全業種で低下、見通しは卸・小売業は上昇 ～

[7～9月期の実績] 資金繰り状況(前期比)は、全業種では、「楽になった」とする企業が10.3%(前期23.5%)、「苦しくなった」が21.8%(同19.1%)であることから、DIは11.5(同4.4)と低下した。

業種別にDIをみると、製造業が15.6(前期3.5)、建設業が0.1(同10.8)、卸・小売業は13.6(同7.4)と、全業種で低下した。

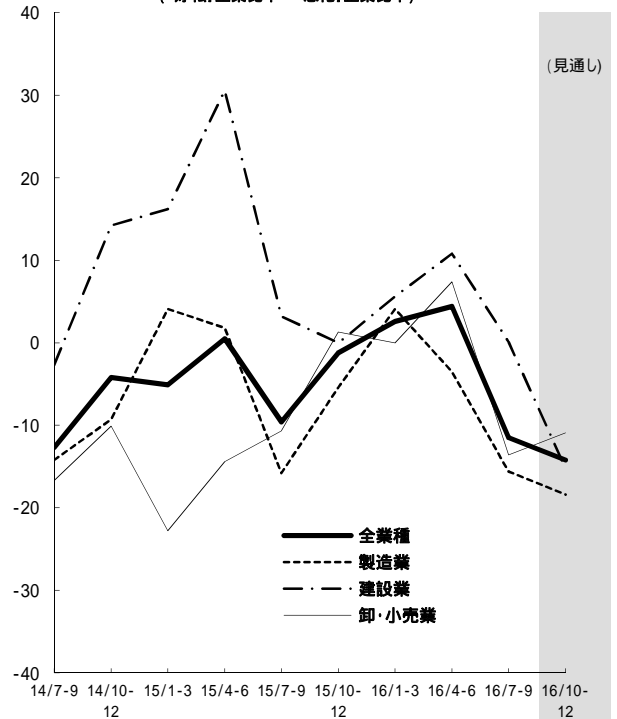
[10～12月期の見通し] 10～12月期の見通し(当期比)をみると、全業種では「楽になる」とみる企業が11.6%、「苦しくなる」が25.8%で、DIは14.2となり、7～9月期実績と比較して、低下する見通しとなっている。

業種別にDIをみると、製造業18.4、建設業15.2、卸・小売業10.9となっており、製造業と建設業は低下、卸・小売業は上昇する見通しとなっている。

資金繰り(前期比)

		(%)						
	期	楽	やや楽	不変	やや苦	苦	DI	
全業種	7～9月 (実績)	1.3	9.0	67.9	16.7	5.1	-11.5	
	10～12月 (見通し)	1.3	10.3	62.6	21.3	4.5	-14.2	
(製造業)	7～9月 (実績)	2.0	9.8	60.8	19.6	7.8	-15.6	
	10～12月 (見通し)	0.0	10.2	61.2	18.4	10.2	-18.4	
(建設業)	7～9月 (実績)	0.0	6.3	87.5	3.1	3.1	0.1	
	10～12月 (見通し)	0.0	12.1	60.6	27.3	0.0	-15.2	
(卸・小売業)	7～9月 (実績)	1.4	9.6	64.4	20.5	4.1	-13.6	
	10～12月 (見通し)	2.7	9.6	64.5	20.5	2.7	-10.9	

DI 資金繰り動向(前期比)
(「好転」企業比率 - 「悪化」企業比率)



(2) 現金・預金

[7～9月期の実績] 現金・預金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が15.4%（前期25.4%）、「減少した」が31.7%（前期29.2%）であることからDIは 16.3（同 3.8）と低下した。

[10～12月期の見通し] 10～12月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が11.6%、「減少する」が31.8%であることから、DIは 20.2と低下する見通しとなっている。

(3) 金融機関借入

[7～9月期の実績] 金融機関借入金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が16.2%（前期12.6%）、「減少した」が34.4%（同43.0%）であることからDIは 18.2（同 30.4）と上昇した。

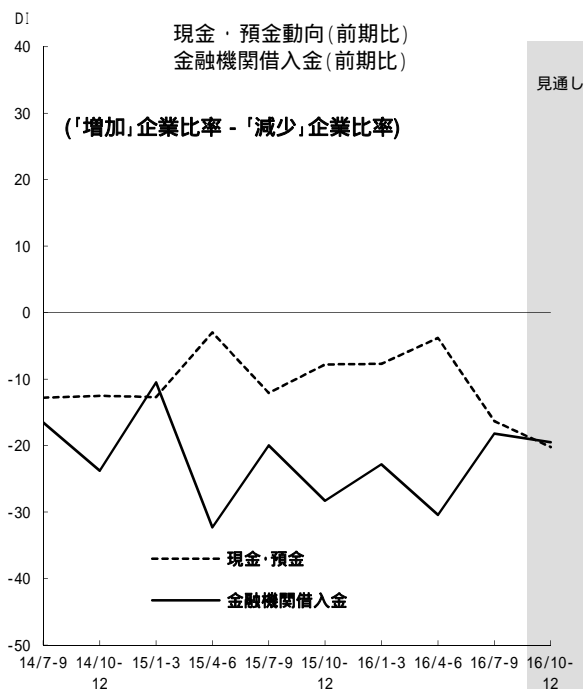
[10～12月期の見通し] 10～12月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が12.3%、「減少する」が31.8%であることから、DIは 19.5と上昇する見通しとなっている。

現金・預金(前期比)

		(%)					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	7～9月 (実績)	0.6	14.8	52.9	25.2	6.5	-16.3
	10～12月 (見通し)	0.6	11.0	56.6	26.0	5.8	-20.2

金融機関借入金(前期比)

		(%)					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	7～9月 (実績)	5.2	11.0	49.4	31.2	3.2	-18.2
	10～12月 (見通し)	1.3	11.0	55.9	29.2	2.6	-19.5



(4) 販売代金回収期間

[7~9月期の実績] 販売代金回収期間(前期比)については、「短くなった」とする企業が1.3%(前期4.4%)、「長くなった」が7.7%(同6.9%)であることから、DIは6.4(同2.5)となった。また91.0%(同88.7%)の企業は「変わらない」としている。

[10~12月期の見通し] 10~12月期の見通し(当期比)をみると、「短くなる」とみる企業が3.2%、「長くなる」が7.1%であることから、DIは3.9となる。また、89.7%の企業は「変わらない」とみている。

(5) 仕入代金決済期間

[7~9月期の実績] 仕入代金決済期間(前期比)については「長くなった」とする企業が0.0%(前期1.2%)、「短くなった」が3.2%(同3.7%)であることから、DIは3.2(前期2.5)となった。また、91.0%(前期95.1%)の企業は「変わらない」としている。

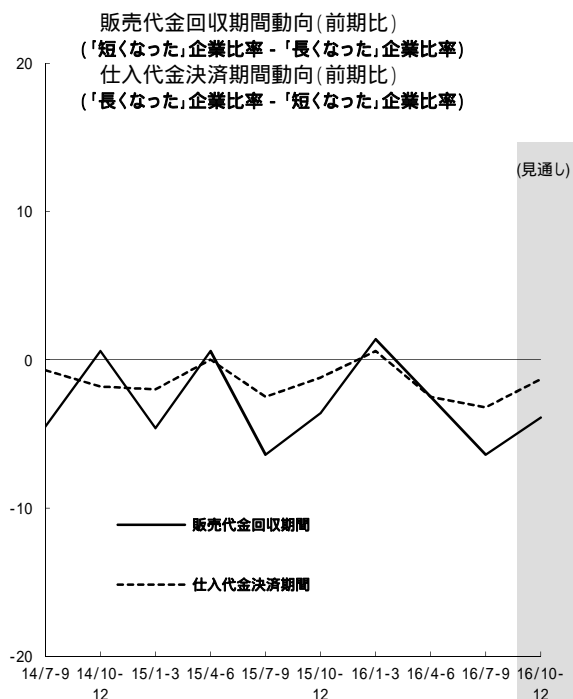
[10~12月期の見通し] 10~12月期の見通し(当期比)をみると、「長くなる」とみる企業が0.6%、「短くなる」が1.9%であることから、DIは1.3となる。また、97.5%の企業は「変わらない」とみている。

販売代金回収期間(前期比)

		(%)					DI
	期	短く	やや短	不変	やや長	長く	
全業種	7~9月 (実績)	0.0	1.3	91.0	7.7	0.0	-6.4
	10~12月 (見通し)	0.0	3.2	89.7	7.1	0.0	-3.9

仕入代金決済期間(前期比)

		(%)					DI
	期	長く	やや長	不変	やや短	短く	
全業種	7~9月 (実績)	0.0	0.0	96.8	2.6	0.6	-3.2
	10~12月 (見通し)	0.0	0.6	97.5	1.9	0.0	-1.3



5. 経営上の問題点について

～ 経営上の問題は全業種「売上・受注不振」と「人手不足」～

7～9月期における経営上の問題点をみると、全業種では「売上・受注不振」29.1%（前期25.2%）、「人手不足」19.5%（前期17.6%）、「収益不振」12.1%（同10.7%）、「過当競争」9.6%（前回10.7%）となっている。

業種別に上位3項目をみると、製造業では「売上・受注不振」が35.3%で1位、「人手不足」が20.0%で2位、「販売価格安」が9.4%と3位となった。

建設業では「売上・受注不振」が27.9%で1位となり、「人手不足」が18.0%で2位、「収益不振」と「過当競争」が14.8%で3位となった。

卸・小売業では「売上・受注不振」が26.2%で1位、「人手不足」が19.2%で2位、「収益不振」が13.8%で3位となっている

経営上の問題点

(2項目以内複数回答可)

